

設計条件		
設計基準の項目	基準項目値	採用値
構造規格	第3種第3級	
幅員構成		
設計速度	60 km/h	
最小曲線半径	150 m	160 m
最小曲線長	100 m	107.317 m
緩和区間長	50 m	50.403 m
視距	75 m	※87.3 m
最急縦断勾配	5.0 %	2.41 %
最小縦断曲線半径	凸型 1,400 m	4,399 m
	凹型 1,000 m	5,562 m
最小縦断曲線	50 m	50 m
最大片勾配	6.00 %	6.00 %
合成勾配	8.0 %	6.40 %

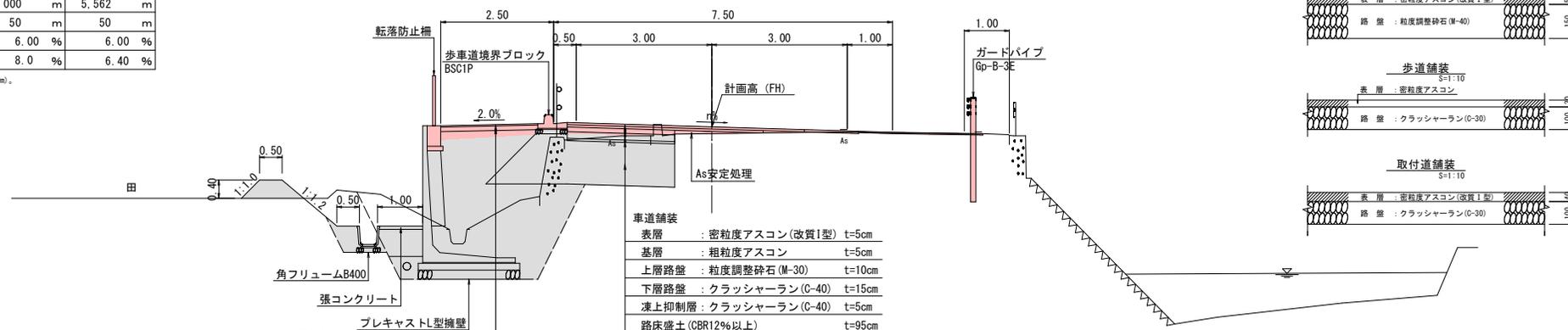
※下り車線の値(上り車線は56.9m)。

舗装計画			
設計基準項目	基準項目値	採用値	
舗装計画交通量	250以上1,000未満(台/日・方向)		
信頼性	90 %		
設計CBR	12 %		
TA	17.0	17.25	
舗装構成層	等値換算係数	厚さ	換算厚
表層	1.00	5	5.00
表層	1.00	5	5.00
上層路盤	0.35	10	3.50
下層路盤	0.25	15	3.75
計		35	17.25

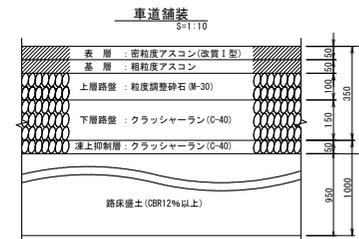
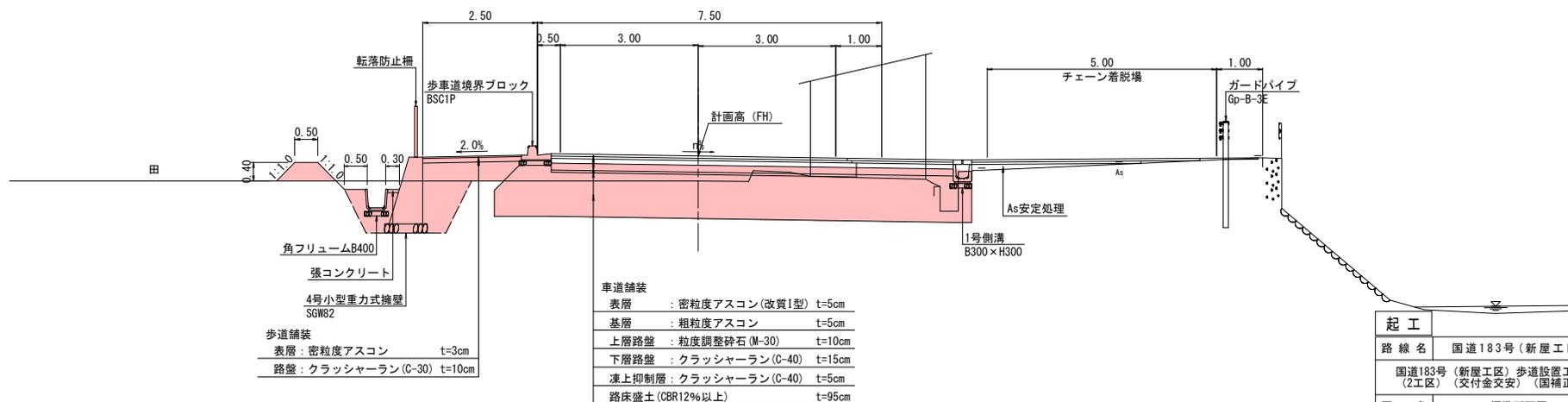
標準断面図

S=1:50

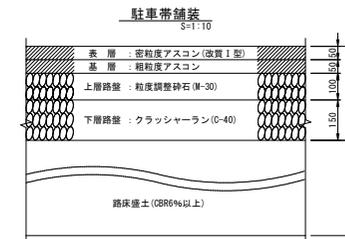
NO. 17付近



NO. 11付近

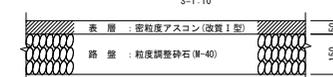


※視通利用区間は施工時にCBR試験を行い、路床強度が12%に対して不足する場合は路床置換を行うこと。

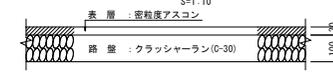


※視通利用区間は施工時にCBR試験を行い、路床強度が6%に対して不足する場合は路床置換を行うこと。

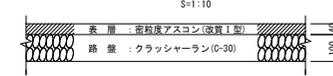
路肩舗装



歩道舗装



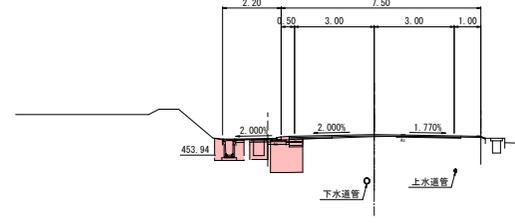
取付道舗装



起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金受安)(国補正)	
図名	標準断面図
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	1:50 単位 M
図名	全 27 葉の内 3
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

D=15.000

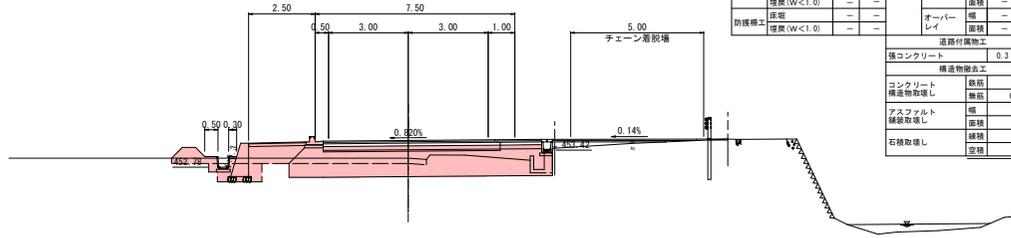
NO. 5
GH=454.63
FH=454.71



類別・区分	数量		類別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
掘削工	1.4		舗装工		0.0
オープン掘削	1.4		表層	4.40	0.0
片切掘削	+	0.0	基層	4.40	0.0
舗土掘削	-		上層路盤	0.51	
盛土工			車道舗装	下層路盤	1.49
W<2.5	1.2		運上付制盤	0.51	
路床盛土	2.5W<4.0		As安定地盤	幅	4.40
W≥4.0			面積	4.40	0.0
W<2.5			表層		
路体盛土	2.5W<4.0		路盤		
W≥4.0			As安定地盤	幅	
W<2.5			面積		
経路盛土	W<2.5		As安定地盤	幅	
			面積		
法面整削工			オーバーレイ	幅	4.40
切土部			面積	0.0	4.40
盛土部			表層	1.35	
作業土工			路盤	1.13	
掘削工			表層		
埋戻(W<1.0)			基層		
排水構築物工			上層路盤		
床版	0.8		下層路盤		
埋戻(W<1.0)	0.5		As安定地盤	幅	
緑石工	埋戻(W<1.0)	0.1	面積		
床版			オーバーレイ	幅	
埋戻(W<1.0)			面積		
防塵柵工	埋戻(W<1.0)		オーバーレイ	幅	
床版			面積		
埋戻(W<1.0)			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		
			下層路盤		
			As安定地盤	幅	
			面積		
			オーバーレイ	幅	
			面積		
			表層		
			基層		
			上層路盤		

D=5.899

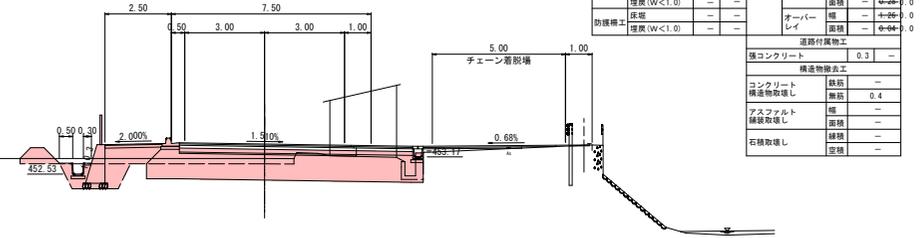
NO. 10
GH=453.12
FH=453.78



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
掘削工				舗装工			
オープン掘削	4→5.5			表層		4→4.0	0.0
片切掘削	→+0.0			基層		4→4.0	0.0
鮮土掘削	1.9			上層路盤		4→4.0	0.0
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.1			運上抑制層		6.65	
2.5≤W<4.0	—			As安定処理			
W≥4.0	8.3			表層			
W<2.5	1.2			路盤			
2.5≤W<4.0	—			路盤			
W≥4.0	—			As安定処理			
W<2.5	0.7			As安定処理			
切土部				法面整形式			
切土部	1.1			オーバーレイ			
盛土部				歩道舗装			
作業土工	—			表層		2.15	
床版	1.1			表層		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	0.6			基層		→+4.0	0.0
床版	0.1			上層路盤		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	0.1			下層路盤		→+4.0	0.0
床版	—			As安定処理		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			As安定処理		→+4.0	0.0
床版	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
防凍工				道路付属物工			
埋戻(W<1.0)	—			張コンクリート		0.3	
防凍工				構造物撤去工			
埋戻(W<1.0)	—			コンクリート			
防凍工				構造物取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装		0.4	
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			Asファルト			
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装取壊し			
防凍工				石積取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			石積取壊し			
防凍工				空積			
埋戻(W<1.0)	—			空積			

D=20.000

NO. 11
GH=453.11
FH=453.65

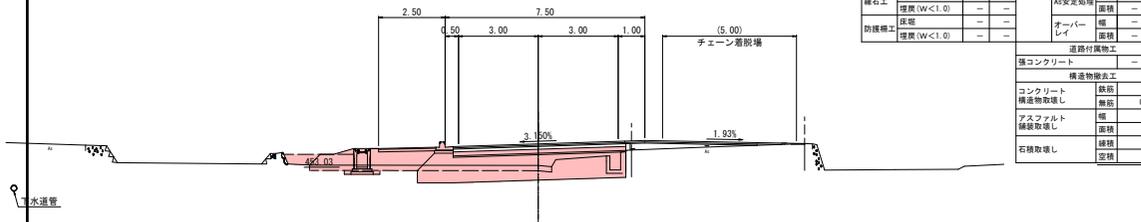


類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
掘削工				舗装工			
オープン掘削	4→7.3			表層		4→4.0	0.0
片切掘削	→+0.0			基層		4→4.0	0.0
鮮土掘削	2.1			上層路盤		4→4.0	0.0
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.1			運上抑制層		6.65	
2.5≤W<4.0	—			As安定処理			
W≥4.0	9.8			表層			
W<2.5	1.1			路盤			
2.5≤W<4.0	—			路盤			
W≥4.0	—			As安定処理			
W<2.5	0.6			As安定処理			
切土部				法面整形式			
切土部	1.4			オーバーレイ			
盛土部				歩道舗装			
作業土工	—			表層		2.15	
床版	2.0			表層		→+4.0	0.0
埋戻(0.5≤W<1.0)	1.1			基層		→+4.0	0.0
床版	—			上層路盤		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			下層路盤		→+4.0	0.0
床版	—			As安定処理		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			As安定処理		→+4.0	0.0
床版	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
防凍工				道路付属物工			
埋戻(W<1.0)	—			張コンクリート		0.3	
防凍工				構造物撤去工			
埋戻(W<1.0)	—			コンクリート			
防凍工				構造物取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装		0.4	
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			Asファルト			
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装取壊し			
防凍工				石積取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			石積取壊し			
防凍工				空積			
埋戻(W<1.0)	—			空積			

D=20.000

D=20.000

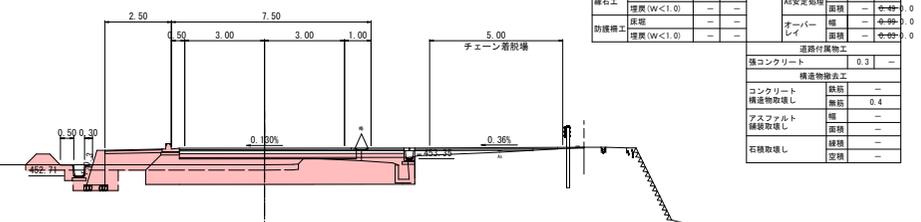
NO. 9
GH=453.10
FH=453.90



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
掘削工				舗装工			
オープン掘削	4→3.8			表層		4→4.0	0.0
片切掘削	→+0.0			基層		4→4.0	0.0
鮮土掘削	1.8			上層路盤		4→4.0	0.0
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.1			運上抑制層		6.65	
2.5≤W<4.0	—			As安定処理		4→4.0	0.0
W≥4.0	7.3			表層		4→4.0	0.0
W<2.5	1.5			路盤			
2.5≤W<4.0	—			路盤			
W≥4.0	—			As安定処理			
W<2.5	1.0			As安定処理			
切土部				法面整形式			
切土部	—			オーバーレイ			
盛土部				歩道舗装			
作業土工	0.6			表層		2.15	
床版	—			表層		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			基層		→+4.0	0.0
床版	0.2			上層路盤		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	0.1			下層路盤		→+4.0	0.0
床版	—			As安定処理		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			As安定処理		→+4.0	0.0
床版	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
防凍工				道路付属物工			
埋戻(W<1.0)	—			張コンクリート		—	
防凍工				構造物撤去工			
埋戻(W<1.0)	—			コンクリート			
防凍工				構造物取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装		0.3	
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			Asファルト			
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装取壊し			
防凍工				石積取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			石積取壊し			
防凍工				空積			
埋戻(W<1.0)	—			空積			

D=14.101

KA1-2 (NO. 10+5.899)
GH=453.12
FH=453.74



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
掘削工				舗装工			
オープン掘削	4→6.3			表層		4→4.0	0.0
片切掘削	→+0.0			基層		4→4.0	0.0
鮮土掘削	2.0			上層路盤		4→4.0	0.0
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.1			運上抑制層		6.65	
2.5≤W<4.0	—			As安定処理			
W≥4.0	9.5			表層			
W<2.5	1.2			路盤			
2.5≤W<4.0	—			路盤			
W≥4.0	—			As安定処理			
W<2.5	0.7			As安定処理			
切土部				法面整形式			
切土部	—			オーバーレイ			
盛土部				歩道舗装			
作業土工	1.2			表層		2.15	
床版	1.3			表層		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	0.6			基層		→+4.0	0.0
床版	0.1			上層路盤		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	0.1			下層路盤		→+4.0	0.0
床版	—			As安定処理		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			As安定処理		→+4.0	0.0
床版	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
埋戻(W<1.0)	—			オーバーレイ		→+4.0	0.0
防凍工				道路付属物工			
埋戻(W<1.0)	—			張コンクリート		0.3	
防凍工				構造物撤去工			
埋戻(W<1.0)	—			コンクリート			
防凍工				構造物取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装		0.4	
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			Asファルト			
防凍工				舗装取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			舗装取壊し			
防凍工				石積取壊し			
埋戻(W<1.0)	—			石積取壊し			
防凍工				空積			
埋戻(W<1.0)	—			空積			

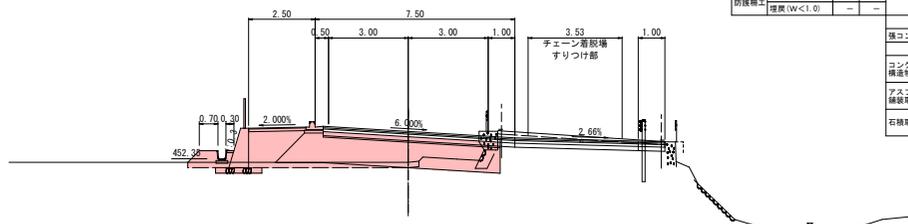
D=14.101

起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(围補正)	
図名	横断面
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	1:100
単位	M
図名	全 27 葉の内 7
令和 6 年度施行	鳥 取 県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

注・チェーン蓄脱場との境界に設置する道路側溝は、除雪作業に支障のないスリットタイプであり、除雪作業による破損時に最低のみでの取替にて復旧可能な製品とすること。

D=20.000

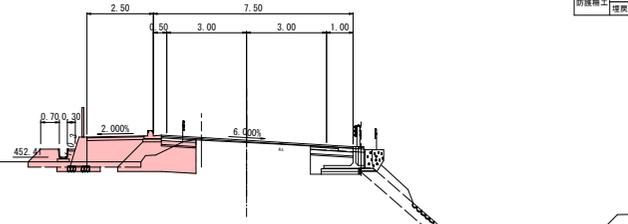
NO. 13
GH=452.22
FH=453.37



類別・区分	数量		類別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
オープン掘削	1.9	1.9	表層	4.46	0.0
片切掘削	1.7	1.7	基層	4.46	0.0
耕土掘削	1.7	1.7	上層路盤	4.46	0.0
盛土工	0.1	0.1	下層路盤	6.65	0.0
路床盛土	2.55W<4.0	0.1	車道縁状	上層路盤	4.46
W≧4.0	2.7	2.7	下層路盤	6.65	0.0
路体盛土	2.55W<4.0	0.1	表層	4.46	0.0
W≧4.0	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
路肩縁状	As安定処理	0.8	表層	4.46	0.0
As安定処理	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
切土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
盛土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
作業土工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
擁壁工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
排水構築物工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
緑石工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
防護柵工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
コンクリート	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
構築物取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
アスファルト舗装取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
縁石取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
石積取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0

D=14.188

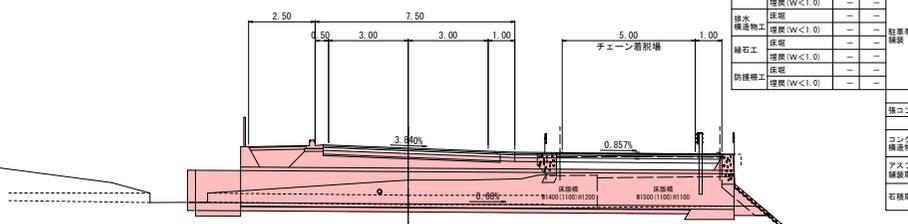
NO. 15
GH=452.96
FH=453.04



類別・区分	数量		類別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
オープン掘削	1.9	1.9	表層	4.46	0.0
片切掘削	1.7	1.7	基層	4.46	0.0
耕土掘削	1.7	1.7	上層路盤	4.46	0.0
盛土工	0.1	0.1	下層路盤	6.65	0.0
路床盛土	2.55W<4.0	0.1	車道縁状	上層路盤	4.46
W≧4.0	2.7	2.7	下層路盤	6.65	0.0
路体盛土	2.55W<4.0	0.1	表層	4.46	0.0
W≧4.0	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
路肩縁状	As安定処理	0.8	表層	4.46	0.0
As安定処理	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
切土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
盛土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
作業土工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
擁壁工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
排水構築物工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
緑石工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
防護柵工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
コンクリート	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
構築物取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
アスファルト舗装取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
縁石取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
石積取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0

D=20.000

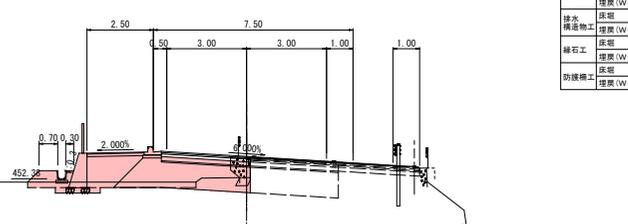
NO. 12
GH=452.33
FH=453.52



類別・区分	数量		類別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
オープン掘削	1.7	1.7	表層	4.46	0.0
片切掘削	1.7	1.7	基層	4.46	0.0
耕土掘削	1.7	1.7	上層路盤	4.46	0.0
盛土工	0.1	0.1	下層路盤	6.65	0.0
路床盛土	2.55W<4.0	0.1	車道縁状	上層路盤	4.46
W≧4.0	2.7	2.7	下層路盤	6.65	0.0
路体盛土	2.55W<4.0	0.1	表層	4.46	0.0
W≧4.0	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
路肩縁状	As安定処理	0.8	表層	4.46	0.0
As安定処理	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
切土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
盛土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
作業土工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
擁壁工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
排水構築物工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
緑石工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
防護柵工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
コンクリート	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
構築物取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
アスファルト舗装取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
縁石取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
石積取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0

D=20.000

NO. 14
GH=453.18
FH=453.21



類別・区分	数量		類別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
オープン掘削	1.7	1.7	表層	4.46	0.0
片切掘削	1.7	1.7	基層	4.46	0.0
耕土掘削	1.7	1.7	上層路盤	4.46	0.0
盛土工	0.1	0.1	下層路盤	6.65	0.0
路床盛土	2.55W<4.0	0.1	車道縁状	上層路盤	4.46
W≧4.0	2.7	2.7	下層路盤	6.65	0.0
路体盛土	2.55W<4.0	0.1	表層	4.46	0.0
W≧4.0	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
路肩縁状	As安定処理	0.8	表層	4.46	0.0
As安定処理	0.8	0.8	As安定処理	4.46	0.0
切土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
盛土部	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
作業土工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
擁壁工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
排水構築物工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
緑石工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
防護柵工	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
コンクリート	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
構築物取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
アスファルト舗装取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
縁石取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0
石積取壊し	As安定処理	0.8	As安定処理	4.46	0.0

DL=445.00

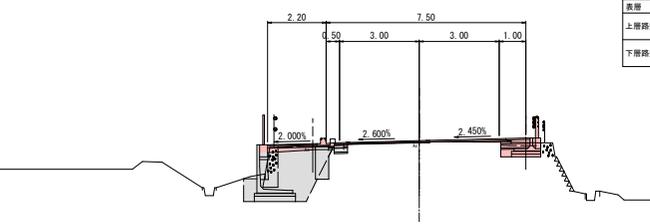
DL=445.00

DL=445.00

起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金受入)(国補正)	
図名	横断面図
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	1:100
単位	M
図名	全 27 葉の内 8
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

D=11.500

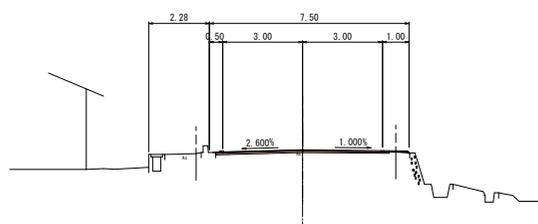
NO. 22
GH=450.90
FH=450.94



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
開削工				舗装工			
オープン掘削	—	0.30	0	表層	—	6.45	—
片切掘削	—	—	—	基層	—	1.85	—
耕土掘削	—	—	—	上層路盤	—	0.89 (0.0)	—
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.6 (0.0)	—	—	下層路盤	—	1.60 (0.0)	—
路床盛土	2.5≤W<4.0	—	—	速上抑制層	—	1.53(1.0)	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	5.76	—
W<2.5	—	—	—	表層	—	0.14	—
路体盛土	2.5≤W<4.0	—	—	路盤	—	0.91	—
W≥4.0	—	—	—	路盤	—	0.71	—
路肩盛土	W<2.5	—	—	As安定処理	—	—	—
法面整飾工				路肩舗装			
切土部	—	—	—	オーバーレイ	—	—	—
盛土部	—	—	—	表層	—	—	—
擁壁工				歩道舗装			
表込砕石	φ≧40	—	—	表層	—	1.84	—
作業土工				路盤			
擁壁工	表層	—	—	基層	—	—	—
排水構築物工	埋戻(1.05W<4.0)	—	—	上層路盤	—	—	—
緑石工	表層	—	—	下層路盤	—	—	—
防塵構工	埋戻(W<1.0)	—	—	As安定処理	—	—	—
仮設舗装(左側)				構造物撤去工			
表層	—	—	—	コンクリート	—	—	—
上層路盤	—	—	—	構造物取壊し	—	—	—
下層路盤	—	—	—	アスファルト	—	—	—
表層	—	—	—	舗装取壊し	—	—	—
基層	—	—	—	石積取壊し	—	—	—
表層	—	—	—	空積	—	—	—

D=12.700

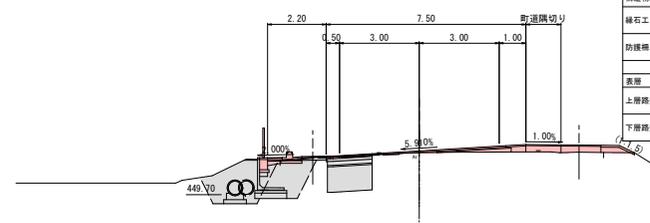
NO. 23
GH=450.59
FH=450.60



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
開削工				舗装工			
オープン掘削	—	—	—	表層	—	6.51	—
片切掘削	—	—	—	基層	—	6.51	—
耕土掘削	—	—	—	上層路盤	—	—	—
盛土工				車道舗装			
W<2.5	—	—	—	下層路盤	—	—	—
路床盛土	2.5≤W<4.0	—	—	速上抑制層	—	—	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	—	—
W<2.5	—	—	—	表層	—	—	—
路体盛土	2.5≤W<4.0	—	—	路盤	—	—	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	—	—
路肩盛土	W<2.5	—	—	路肩舗装	—	—	—
法面整飾工				路肩舗装			
切土部	—	—	—	オーバーレイ	—	—	—
盛土部	—	—	—	表層	—	—	—
擁壁工				歩道舗装			
表層	—	—	—	表層	—	—	—
排水構築物工	埋戻(W<1.0)	—	—	基層	—	—	—
緑石工	表層	—	—	上層路盤	—	—	—
防塵構工	埋戻(W<1.0)	—	—	下層路盤	—	—	—
仮設舗装(左側)				構造物撤去工			
表層	—	—	—	コンクリート	—	—	—
上層路盤	—	—	—	構造物取壊し	—	—	—
下層路盤	—	—	—	アスファルト	—	—	—
表層	—	—	—	舗装取壊し	—	—	—
基層	—	—	—	石積取壊し	—	—	—
表層	—	—	—	空積	—	—	—

D=20.000

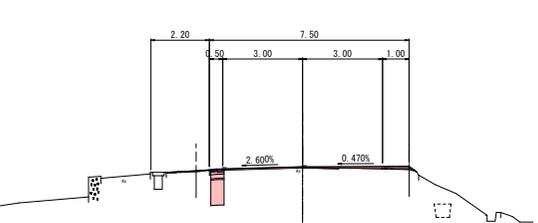
NO. 21
GH=451.26
FH=451.33



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
開削工				舗装工			
オープン掘削	—	—	—	表層	—	6.50	—
片切掘削	—	—	—	基層	—	4.27	—
耕土掘削	—	—	—	上層路盤	—	—	—
盛土工				車道舗装			
W<2.5	—	—	—	下層路盤	—	—	—
路床盛土	2.5≤W<4.0	—	—	速上抑制層	—	—	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	—	—
W<2.5	0.2	—	—	表層	—	0.25 (0.75)	—
路体盛土	2.5≤W<4.0	—	—	路盤	—	0.05	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	—	—
路肩盛土	W<2.5	—	—	路肩舗装	—	—	—
法面整飾工				路肩舗装			
切土部	—	—	—	オーバーレイ	—	—	—
盛土部	—	—	—	表層	—	—	—
擁壁工				歩道舗装			
表込砕石	φ≧40	—	—	表層	—	0.54	—
作業土工				路盤			
擁壁工	表層	—	—	基層	—	—	—
排水構築物工	埋戻(1.05W<4.0)	—	—	上層路盤	—	—	—
緑石工	表層	—	—	下層路盤	—	—	—
防塵構工	埋戻(W<1.0)	—	—	As安定処理	—	—	—
仮設舗装(左側)				構造物撤去工			
表層	—	—	—	コンクリート	—	—	—
上層路盤	—	—	—	構造物取壊し	—	—	—
下層路盤	—	—	—	アスファルト	—	—	—
表層	—	—	—	舗装取壊し	—	—	—
基層	—	—	—	石積取壊し	—	—	—
表層	—	—	—	空積	—	—	—

D=8.800

NO. 22+11.5
GH=450.73
FH=450.74



類別・区分		数量		類別・区分		数量	
		左側	右側	左側	右側		
開削工				舗装工			
オープン掘削	—	0.6	—	表層	—	6.50	—
片切掘削	—	—	—	基層	—	0.78	—
耕土掘削	—	—	—	上層路盤	—	0.50	—
盛土工				車道舗装			
W<2.5	0.5	—	—	下層路盤	—	0.50	—
路床盛土	2.5≤W<4.0	—	—	速上抑制層	—	0.50	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	—	—
W<2.5	—	—	—	表層	—	0.07	—
路体盛土	2.5≤W<4.0	—	—	路盤	—	0.25 (0.82)	—
W≥4.0	—	—	—	As安定処理	—	0.05 (0.71)	—
路肩盛土	W<2.5	—	—	路肩舗装	—	—	—
法面整飾工				路肩舗装			
切土部	—	—	—	オーバーレイ	—	—	—
盛土部	—	—	—	表層	—	—	—
擁壁工				歩道舗装			
表層	—	—	—	表層	—	1.62	—
排水構築物工	埋戻(W<1.0)	—	—	基層	—	—	—
緑石工	表層	—	—	上層路盤	—	—	—
防塵構工	埋戻(W<1.0)	—	—	下層路盤	—	—	—
仮設舗装(左側)				構造物撤去工			
表層	—	—	—	コンクリート	—	—	—
上層路盤	—	—	—	構造物取壊し	—	—	—
下層路盤	—	—	—	アスファルト	—	—	—
表層	—	—	—	舗装取壊し	—	—	—
基層	—	—	—	石積取壊し	—	—	—
表層	—	—	—	空積	—	—	—

DL=445.00

DL=445.00

DL=445.00

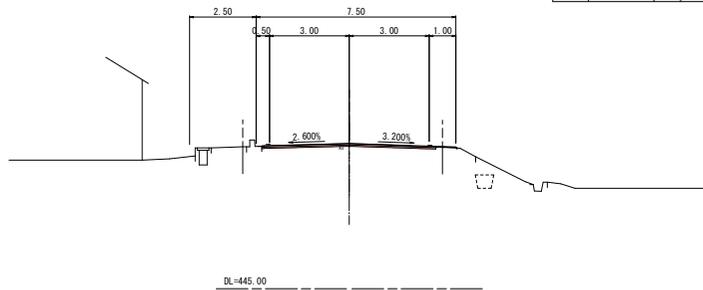
DL=445.00

起工

路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(围補正)	
図名	横断面図
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	1:100
単位	M
図名	全 27 葉の内 11
令和 6 年度施行	鳥 取 県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

注・防護柵基礎は、既設防護柵基礎の内側に設置する計画としている。支障となる場合は既設基礎の撤去を行うこと。

EP (KA3-2) NO. 23+12. 749
 BH=450. 41
 FH=450. 41



細別・区分	数量		細別・区分	数量	
	左側	右側		左側	右側
掘削工			舗装工		
オープン掘削	—	—	表層	6.54	—
片切掘削	—	—	基層	6.54	—
耕土掘削	—	—	上層路盤	—	—
掘削工			車道舗装		
W<2.5	—	—	下層路盤	—	—
2.5≦W<4.0	—	—	速上抑制層	—	—
W≧4.0	—	—	A ₁ 安定処理	—	—
路面工			底層	—	—
W<2.5	—	—	表層	—	—
2.5≦W<4.0	—	—	路盤	—	—
W≧4.0	—	—	A ₁ 安定処理	—	—
路面工			側溝	—	—
W<2.5	—	—	オーバーレイ	—	—
高層舗装工	—	—	側溝	0.00	—
切土部	—	—	オーバーレイ	—	0.02
盛土部	—	—	表層	—	—
作業土工			路盤	—	—
表層	—	—	表層	—	—
基層	—	—	基層	—	—
上層路盤	—	—	上層路盤	—	—
下層路盤	—	—	下層路盤	—	—
結晶塩	—	—	結晶塩	—	—
A ₁ 安定処理	—	—	A ₁ 安定処理	—	—
オーバーレイ	—	—	オーバーレイ	—	—
側溝	—	—	側溝	—	—
道路付属物工			道路付属物工		
強コンクリート	—	—	強コンクリート	—	—
構造物撤去工			構造物撤去工		
コンクリート	—	—	コンクリート	—	—
構造物取壊し	—	—	構造物取壊し	—	—
アスファルト	—	—	アスファルト	7.3	—
舗装取壊し	—	—	舗装取壊し	0.6	—
石積取壊し	—	—	石積取壊し	—	—
			空積	—	—

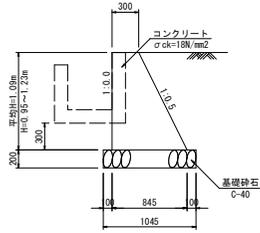
起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
図名	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正) 横断面		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	1:100	単位	M
図名	全 27 葉の内 12		
令和 6 年度施行	鳥 取 県		

構造図(1)

1号小型重力式擁壁
(SGW42)

断面図



展開図(参考図)



DL=454.00

1号小型重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	小型重力式擁壁		
	h	1/2	A
0.0	1.23	—	—
0.5	0.95	1.090	0.436
計	0.4		0.436

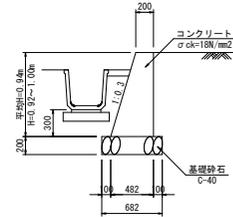
平均高 H=0.436÷0.4=1.09m

1号小型重力式擁壁 10m当り数量表

名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1/2 × (0.30+0.845) × 1.09 × 10.0	6.240
型枠		m²	(1.09+1.118 × 1.09) × 10.0	23.086
基礎砂石	C-40 t<20cm	m²	1.045 × 10.0	10.450

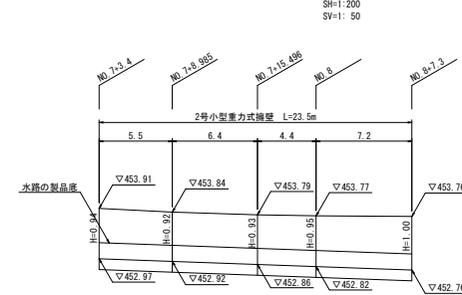
2号小型重力式擁壁
(SGW27)

断面図



S=1:50

展開図(参考図)



SH=1:200
SV=1:50

DL=452.00

2号小型重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	小型重力式擁壁		
	h	1/2	A
NO. 7+3.4	0.0	0.94	—
NO. 7+9.985	5.5	0.92	0.930
NO. 7+15.496	6.4	0.93	0.925
NO. 8	4.4	0.95	0.940
NO. 8+7.3	7.2	1.00	0.975
計	23.5		22.20

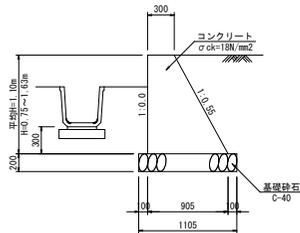
平均高 H=22.20÷23.5=0.94m

2号小型重力式擁壁 10m当り数量表

名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1/2 × (0.20+0.482) × 0.94 × 10.0	3.205
型枠		m²	(0.94+1.044 × 0.94) × 10.0	19.214
基礎砂石	C-40 t<20cm	m²	0.682 × 10.0	6.820
目地材	t=10mm	m²	1/2 × (0.20+0.482) × 0.94	0.321

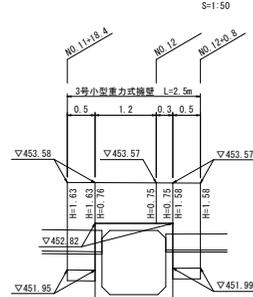
3号小型重力式擁壁
(SGW69)

断面図



S=1:30

展開図(参考図)



S=1:50

DL=451.00

3号小型重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	小型重力式擁壁		
	h	1/2	A
NO. 11+18.4	0.0	1.63	—
0.5	1.63	1.630	0.82
0.0	0.76	—	—
NO. 12	1.2	0.75	0.755
0.3	0.75	0.750	0.23
0.0	1.58	—	—
NO. 12+0.8	0.5	1.58	1.580
計	2.5		2.76

平均高 H=2.76÷2.5=1.10m

3号小型重力式擁壁 10m当り数量表

名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1/2 × (0.30+0.905) × 1.10 × 10.0	6.628
型枠		m²	(1.10+1.141 × 1.10) × 10.0	23.551
基礎砂石	C-40 t<20cm	m²	1.105 × 10.0	11.050

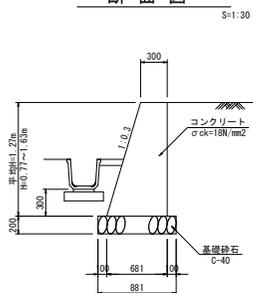
起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
位置	国道183号(新屋工区) 歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	構造図(1)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 13		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

構造図 (2)

4号小型重力式擁壁 (SGW82)

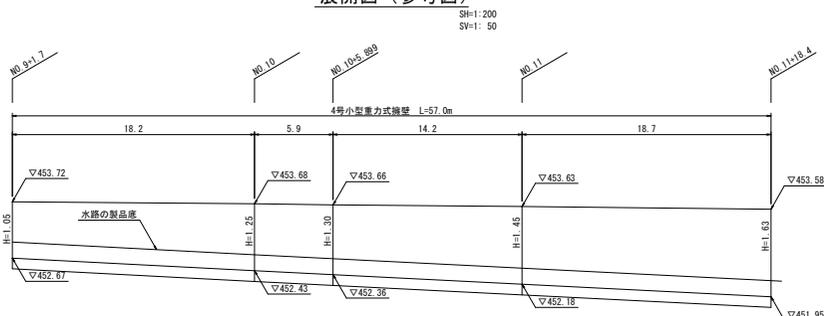
断面図



4号小型重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	h	1/2	A
NO. 9+1.7	0.0	1.05	—
NO. 10	18.2	1.25	1.150
NO. 10+5.899	5.9	1.30	1.275
NO. 11	14.2	1.45	1.375
NO. 11+18.1	18.7	1.63	1.540
NO. 12+0.8	0.0	1.58	—
NO. 13	19.8	1.47	1.525
NO. 14	20.8	1.28	1.375
NO. 15	20.8	1.08	1.180
NO. 15+14.168	14.7	0.92	1.000
NO. 16	6.1	0.85	0.885
NO. 16+5.7	5.9	0.77	0.810
計	145.1		185.00
平均高	H=185.00÷145.1=1.27m		

展開図 (参考図)



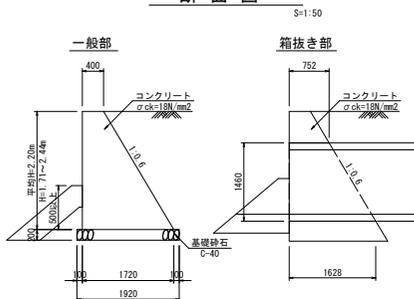
4号小型重力式擁壁		10m当り数量表	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1/2 × (0.30+0.681) × 1.27 × 10.0 = 6.229
型枠		m ²	(1.27+1.044 × 1.27) × 10.0 = 25.959
基礎砕石	C-40 t=20cm	m ²	0.881 × 10.0 = 8.810
目地材	t=10mm	m ²	1/2 × (0.30+0.681) × 1.27 = 0.623

DL=452.00

DL=452.00

1号重力式擁壁 (GW36)

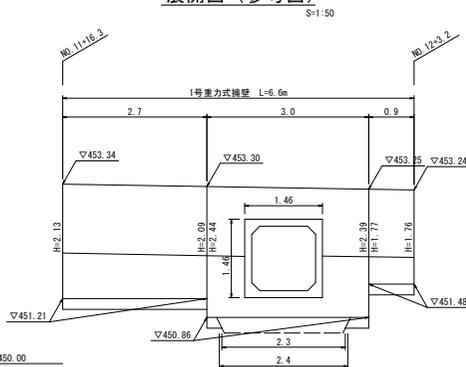
断面図



1号重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	h	1/2	A
NO. 11+16.3	0.0	2.13	—
2.7	2.09	2.110	5.70
0.0	2.44	—	—
3.0	2.39	2.415	7.25
0.0	1.77	—	—
NO. 12+3.2	0.9	1.76	1.765
計	6.6		14.54
平均高	H=14.54÷6.6=2.20m		

展開図 (参考図)



DL=450.00

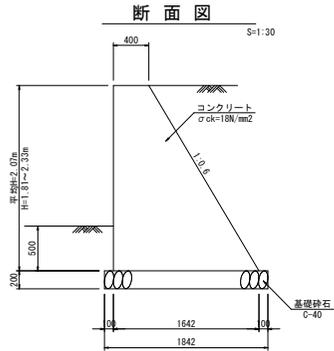
1号重力式擁壁		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	1/2 × (0.40+1.72) × 2.20 × 6.6 = 12.855
型枠		m ²	(2.20+1.166 × 2.20) × 6.6 = 31.450
基礎砕石	C-40 t=20cm	m ²	1.92 × (6.6-2.4) = 8.064

起工

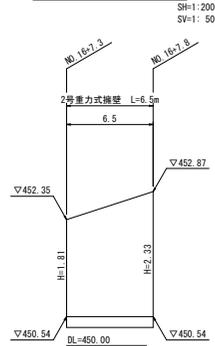
路線名	国道183号(新屋工区)
位置	国道183号(新屋工区) 歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)
図名	構造図(2)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示
単位	M
図名	全 27 葉の内 14
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

構造図 (3)

2号重力式擁壁 (GW36)



展開図 (参考図)



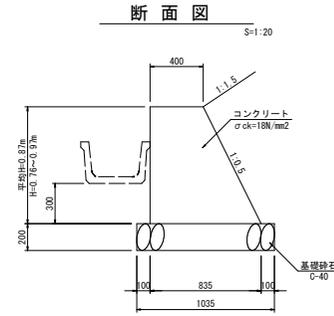
2号重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

距離	h	1/2	A
NO.16-7.3	0.0	1.81	—
NO.16-7.8	6.5	2.33	2.070
計	6.5	—	13.46

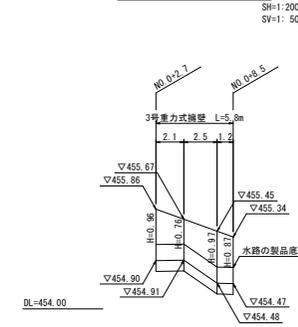
平均高 H=13.46÷6.5=2.07m

2号重力式擁壁 10m当り数量表			
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1/2 × (0.40+1.642) × 2.07 × 10.0 = 21.135
型枠		m2	(2.07+1.166 × 2.07) × 10.0 = 44.836
基礎砕石	C-40 t=200mm	m2	1.842 × 10.0 = 18.420

3号重力式擁壁 (GW4)



展開図 (参考図)



3号重力式擁壁 平均高計算(展開図より)

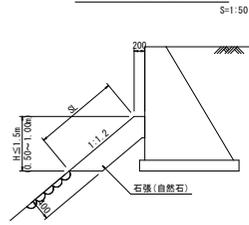
距離	h	1/2	A
NO.0-2.7	0.0	0.96	—
	2.1	0.76	0.860
	2.5	0.97	0.865
NO.0-8.5	1.2	0.87	0.920
計	5.8	—	5.07

平均高 H=5.07÷5.8=0.87m

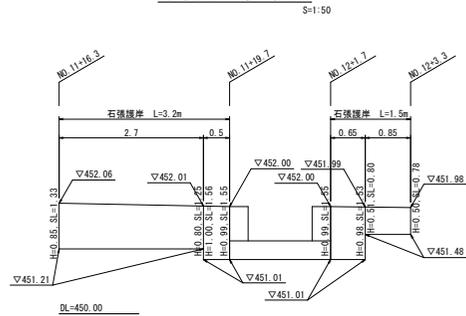
3号重力式擁壁 10m当り数量表			
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1/2 × (0.40+0.835) × 0.87 × 10.0 = 5.372
型枠		m2	(0.87+1.118 × 0.87) × 10.0 = 18.427
基礎砕石	C-40 t=200mm	m2	1.035 × 10.0 = 10.350

石張護岸

断面図

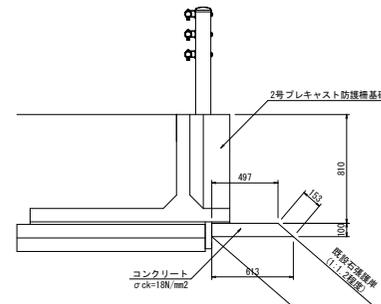


展開図 (参考図)



石張護岸

(天端コンクリート) S=1:20



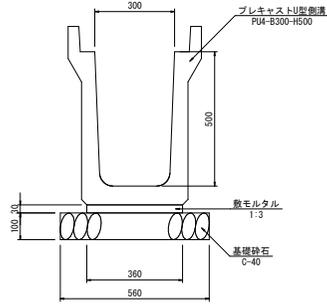
石張護岸(天端コンクリート) 10m当り数量表			
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1/2 × (0.497+0.613) × 0.10 × 10.0 = 0.555
型枠		m2	(0.10+0.153) × 10.0 = 2.530

起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
位置	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	構造図(3)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 15		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

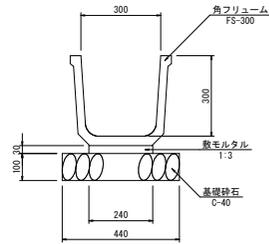
構造図(4)

プレキャストU型側溝
PU4-B300-H500



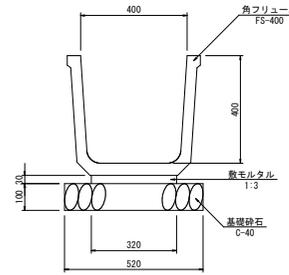
名称	規格	単位	計算式	数量
プレキャストU型側溝	PU4-B300-H500	個	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
敷モルタル	1:3 C-40 t=10cm	m ³	—	0.108
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	—	5.600

角フリューム
FS-300



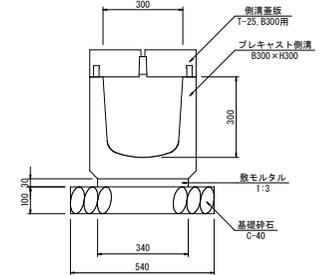
名称	規格	単位	計算式	数量
角フリューム	FS-300	個	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
敷モルタル	1:3 C-40 t=10cm	m ³	—	0.072
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	—	4.400

角フリューム
FS-400



名称	規格	単位	計算式	数量
角フリューム	FS-400	個	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
敷モルタル	1:3 C-40 t=10cm	m ³	—	0.096
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	—	5.200

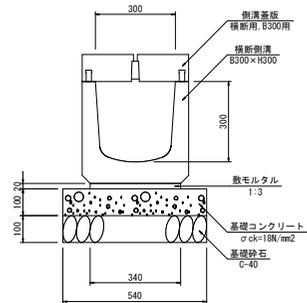
1号側溝
B300×H300



※使用する製品は、除雪作業に支障のないスリットタイプであり、除雪作業による破損時に蓋板のみの取替にて復旧が可能な製品とすること。

名称	規格	単位	計算式	数量
プレキャスト側溝	B300×H300 L=2.0m	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3 C-40 t=10cm	m ³	0.34×0.03×10.0	0.102
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	0.54×10.0	5.400
側溝蓋板	T-25 B300用 L=1.0m	個	10.0/1.0	10.0

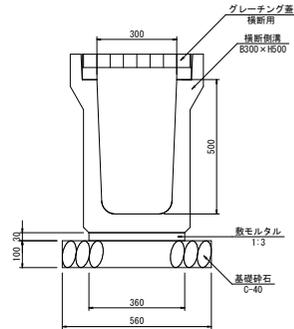
1号横断側溝
B300×H300



※使用する製品は、除雪作業に支障のないスリットタイプであり、除雪作業による破損時に蓋板のみの取替にて復旧が可能な製品とすること。

名称	規格	単位	計算式	数量
横断側溝	B300×H300 L=2.0m	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.34×0.02×10.0	0.068
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm ²	m ³	0.54×0.10×10.0	0.540
基礎型枠		m ²	0.10×2×10.0	2.000
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	0.54×10.0	5.400
側溝蓋板	横断用 B300用 L=1.0m	個	10.0/1.0	10.0

2号横断側溝
B300×H500



名称	規格	単位	計算式	数量
横断側溝	B300×H500 L=2.0m	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	0.36×0.03×10.0	0.108
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	0.56×10.0	5.600
グレーチング蓋	横断用 B300用 L=1.0m	個	10.0/1.0	10.0

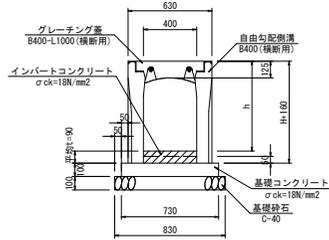
起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	構造図(4)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	1:10	単位	M
図名	全 27 葉の内 16		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

構造図 (5)

断面図

S=1:20



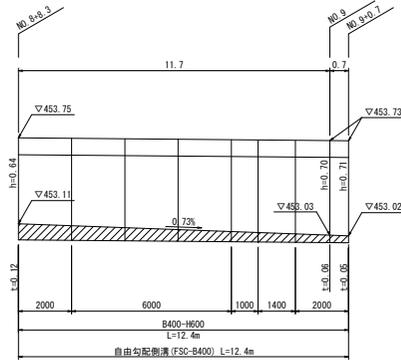
自由勾配側溝 (FSC-B400) 平均厚計算 (展開図より)

距離	インバート	1/2	A
NO.8+8.3	0.0	0.12	—
NO.9	11.7	0.06	0.090
NO.9+0.7	0.7	0.05	0.065
計	12.4		1.09
平均厚	t=1.09÷12.4=0.09m		

自由勾配側溝
FSC-B400

展開図 (参考図)

SH=1:100
SW=1:20

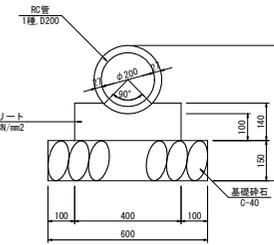


DL=452.00

自由勾配側溝 (FSC-B400)		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
自由勾配側溝	種別用 B400-H600	本	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
インバートコンクリート	種別用 B400-H600 σ ck=18N/mm²	m³	0.40 × 0.09 × 10.0	0.360
基礎コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	鳥取県小構造物標準設計図集参照	0.730
型枠		m²	—	2.000
基礎砂石	C-40 t=10cm	m²	—	8.300
グレーチング蓋	種別用 B400-L1000	枚	10.0/2.0	5.0

ヒューム管
CP1-RC1-D200

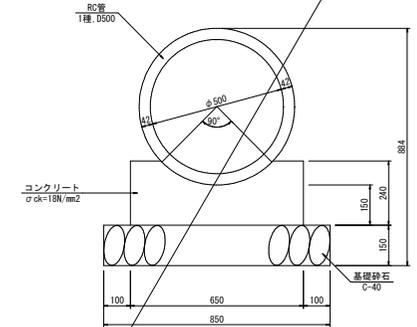
S=1:10



ヒューム管 (CP1-RC1-D200)		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
RC管	1種 D200	本	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	—	0.509
型枠		m²	—	2.800
基礎砂石	C-40 t=15cm	m²	—	6.000

ヒューム管
CP1-RC1-D500

S=1:10



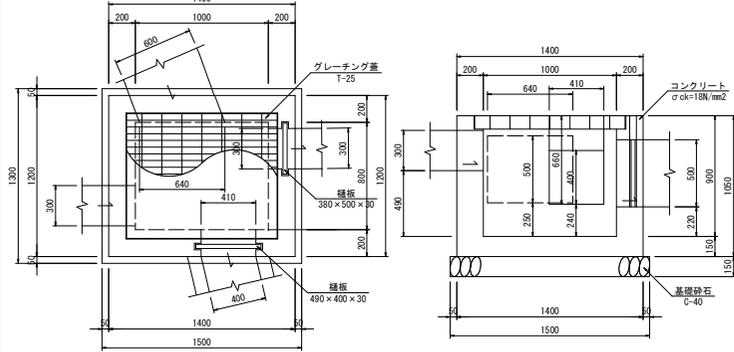
ヒューム管 (CP1-RC1-D500)		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
RC管	1種 D500	本	鳥取県小構造物標準設計図集参照	4.1
コンクリート	σ ck=18N/mm²	m³	—	1.298
型枠		m²	—	4.800
基礎砂石	C-40 t=15cm	m²	—	8.500

起工

路線名	国道183号 (新屋工区)		
	国道183号 (新屋工区) 歩道設置工事 (2工区) (交付金交安) (国補正)		
図名	構造図 (5)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 17		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

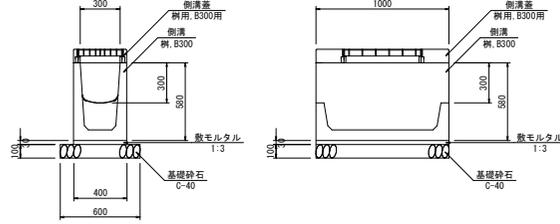
構造図(6)

1号街渠樹
B800-L1000-H900



1号街渠樹 (B800-L1000-H900)		1箇所当り数量表		
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	$1.20 \times 1.40 \times 1.05 - 0.80 \times 1.00 \times 0.90 - (0.30 \times 0.50 + 0.64 \times 0.50 + 0.41 \times 0.40) \times 0.20$	0.917
型枠	C-40	m ²	$(1.20 + 0.80 + 1.40 + 1.00) \times 1.05 \times 2$	9.240
基礎砕石	t=15cm	m ²	1.30×1.50	1.950
グレーチング蓋	T-25	枚	1	1.000
種板	380×500×30	m ³	$0.38 \times 0.50 \times 0.03$	0.006
種板	490×400×30	m ³	$0.49 \times 0.40 \times 0.03$	0.006

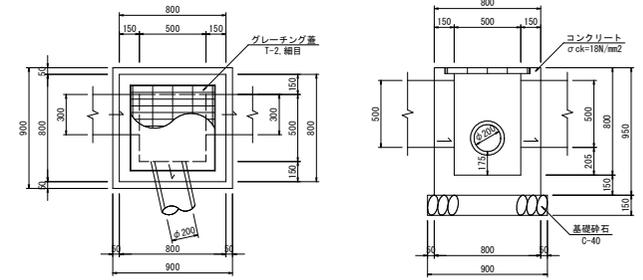
2号街渠樹
B300



※使用する製品は、1号側溝および1号横断側溝と接続可能な製品とすること。

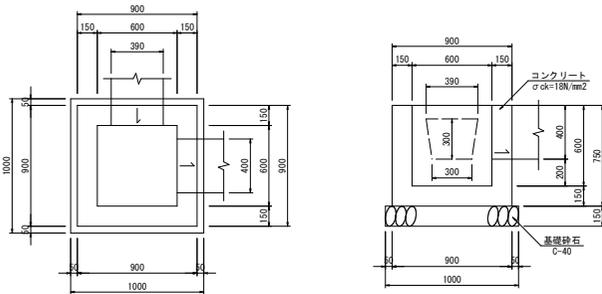
2号街渠樹 (B300)		10m当り数量表		
名称	規格	単位	数量	
側溝	側溝 B300 L=1.0m	個	10.0/1.0	10.0
敷モルタル	t=3	m ³	$0.40 \times 0.03 \times 10.0$	0.120
基礎砕石	C-40 t=10cm	m ²	0.60×10.0	6.000
側溝蓋	側溝 B300用 t=1.0m	個	10.0/1.0	10.0

1号集水樹
B500-L500-H800



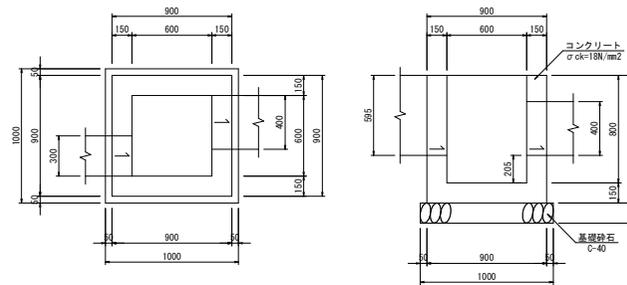
1号集水樹 (B500-L500-H800)		1箇所当り数量表		
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	$0.80 \times 0.80 \times 0.95 - 0.50 \times 0.50 \times 0.80 - (0.30 \times 0.50 \times 2 \times 0.15)$	0.363
型枠	C-40	m ²	$(0.80 + 0.50) \times 0.95 \times 4$	4.940
基礎砕石	C-40 t=15cm	m ²	0.90×0.90	0.810
グレーチング蓋	T-2 粗目 B500-L500	枚	1	1.000

2号集水樹
B600-L600-H600



2号集水樹 (B600-L600-H600)		1箇所当り数量表		
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	$0.90 \times 0.90 \times 0.75 - 0.60 \times 0.60 \times 0.60 - (1/2 \times (0.39 + 0.30) \times 0.30 + 0.40 \times 0.40) \times 0.15$	0.352
型枠	C-40	m ²	$(0.90 + 0.60) \times 0.75 \times 4$	4.500
基礎砕石	t=15cm	m ²	1.00×1.00	1.000

3号集水樹
B600-L600-H800



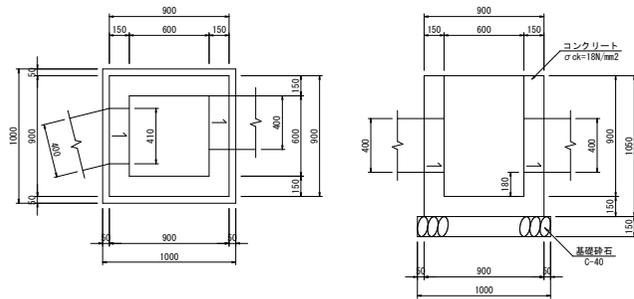
3号集水樹 (B600-L600-H800)		1箇所当り数量表		
名称	規格	単位	数量	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	$0.90 \times 0.90 \times 0.95 - 0.60 \times 0.60 \times 0.80 - (0.30 \times 0.59 + 0.40 \times 0.40) \times 0.15$	0.431
型枠	C-40	m ²	$(0.90 + 0.60) \times 0.95 \times 4$	5.700
基礎砕石	C-40 t=15cm	m ²	1.00×1.00	1.000

起工

路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事 (2工区)(交付金交安)(国補正)	
図名	構造図(6)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	1:20
単位	M
図名	全 27 葉の内 18
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

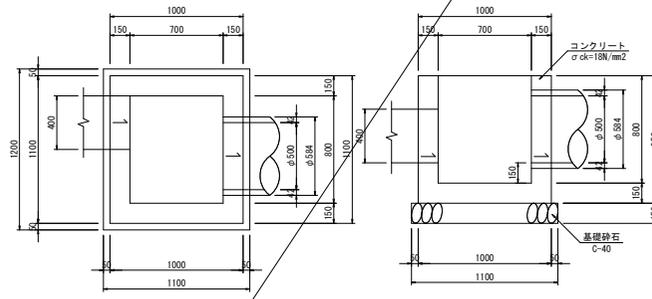
構造図 (7)

4号集水樹
B600-L600-H900



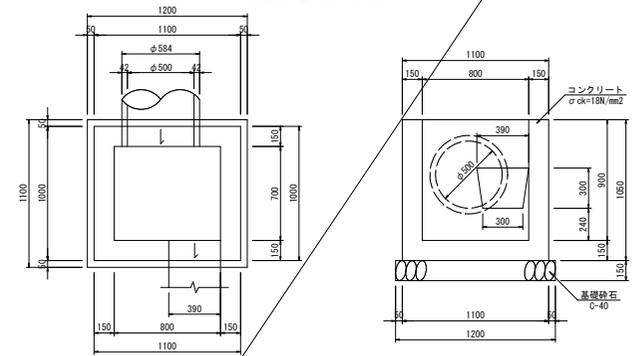
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	$0.90 \times 0.90 \times 1.05 - 0.60 \times 0.60 \times 0.90 - (0.41 \times 0.40 + 0.40 \times 0.40) \times 0.15$	0.478
型枠		m2	$(0.90 + 0.60) \times 1.05 \times 4$	6.300
基礎砕石	C-40 t=15cm	m2	1.00×1.00	1.000

5号集水樹
B800-L700-H800



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	$1.10 \times 1.00 \times 0.95 - 0.80 \times 0.70 \times 0.80 - (0.40 \times 0.40 + 1/4 \times 0.584 \times 0.584 \times \pi) \times 0.15$	0.533
型枠		m2	$(1.10 + 0.80 + 1.00 + 0.70) \times 0.95 \times 2$	6.840
基礎砕石	C-40 t=15cm	m2	1.20×1.10	1.320

6号集水樹
B800-L700-H900



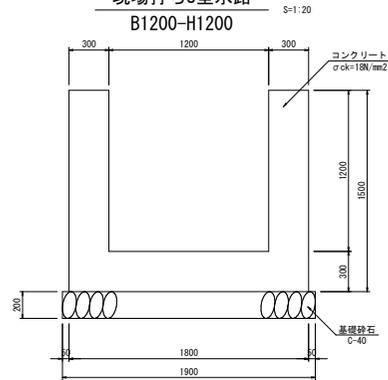
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	$1.10 \times 1.00 \times 1.05 - 0.80 \times 0.70 \times 0.90 - (1/2 \times (0.39 + 0.30) \times 0.30 + 1/4 \times 0.584 \times 0.584 \times \pi) \times 0.15$	0.595
型枠		m2	$(1.10 + 0.80 + 1.00 + 0.70) \times 1.05 \times 2$	7.560
基礎砕石	C-40 t=15cm	m2	1.20×1.10	1.320

起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
	国道183号(新屋工区)歩道設置工事 (2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	構造図(7)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	1:20	単位	M
図名	全 27 葉の内 19		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

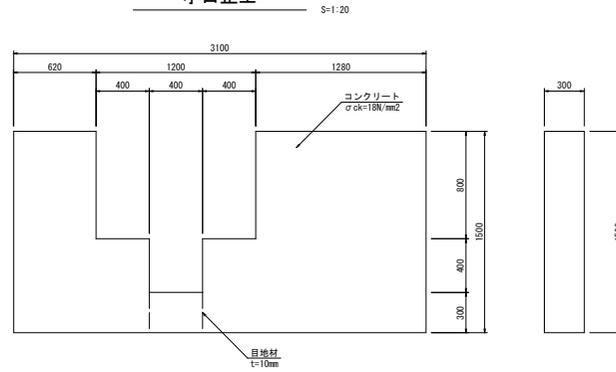
構造図(8)

現場打ちU型水路
B1200-H1200



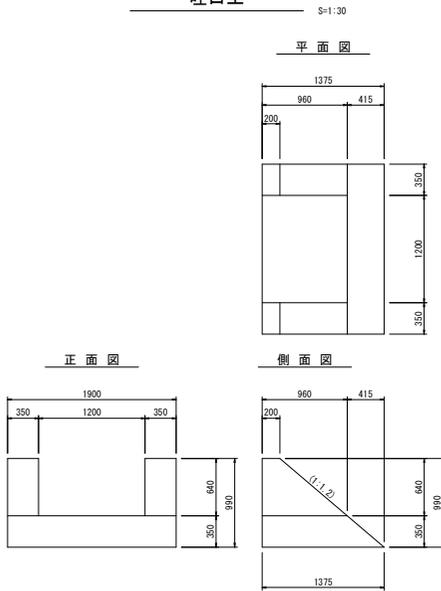
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	(1.80 × 1.50 - 1.20 × 1.20) × 10.0	12.600
型枠		m2	1.50 × 4 × 10.0	60.000
基礎砕石	C-40 t=20cm	m2	1.90 × 10.0	19.000

小口止工



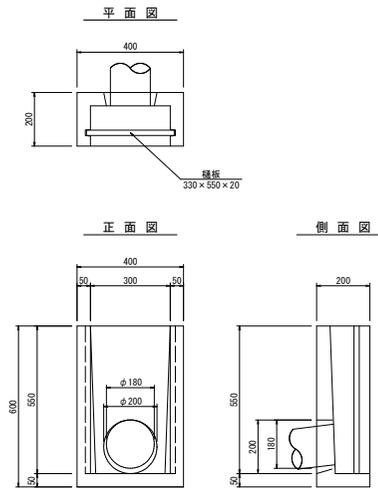
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	(3.10 × 1.50 - 1.20 × 0.80 - 0.40 × 0.40) × 0.30	1.059
型枠		m2	(3.10 × 1.50 - 1.20 × 0.80 - 0.40 × 0.40) × 2 × 0.30 × 1.50 × 2	7.960
目地材	t=10mm	m2	0.30 × 0.30 × 2	0.180

吐口工



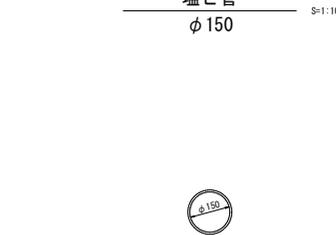
名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1/2 × (0.20 + 0.96) × 0.64 × 0.35 × 2 + 1/2 × (0.96 + 1.375) × 0.35 × 1.90	1.036
型枠		m2	1.90 × 0.99 - 1.20 × 0.64 + 1/2 × (0.20 + 1.375) × 0.99 × 4 + 1.90 × 1.562 × 0.99 - 1.20 × 1.562 × 0.64	5.970

角落し(参考図)
H600



名称	規格	単位	計算式	数量
角落し	H600	個		1.0
種板	330 × 550 × 20	m3	0.33 × 0.55 × 0.02	0.004

塩ビ管
φ150



名称	規格	単位	計算式	数量
塩ビ管	φ150	m		10.0

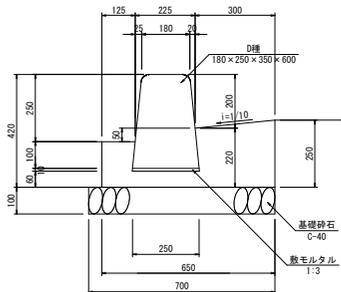
起工

路線名	国道183号(新屋工区)		
位置	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	構造図(8)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 20		
令和 6 年度施行	鳥 取 県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

構造図(9)

歩車道境界ブロック
BSC1

S=1:10

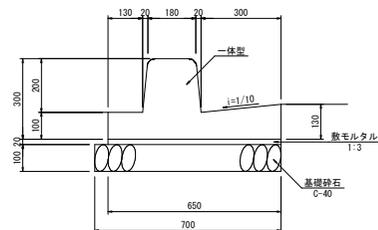


※歩道側境界部分は歩道の高さが車道より低いため歩道側を5cm下げる目的でD種を使用している。

名称	規格	単位	計算式	数量
境界ブロック	D種 L=600	個	10.0/0.605	16.5
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$[0.65 \times 0.17 + 1/2 \times (0.22 + 0.225) \times 0.05 + 1/2 \times (0.05 + 0.08) \times 0.30 - 1/2 \times (0.22 + 0.25) \times 0.15 - 0.25 \times 0.01] \times 10.0$	1.034
型枠		m ²	$(0.17 + 0.25) \times 10.0$	4.200
敷モルタル	1:3	m ³	$0.25 \times 0.01 \times 10.0$	0.025
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	0.70×10.0	7.000

歩車道境界ブロック
BSC1P

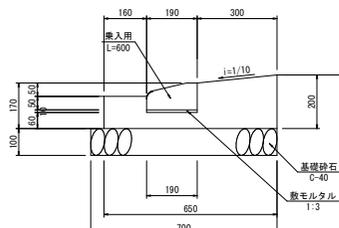
S=1:10



名称	規格	単位	計算式	数量
境界ブロック	一体型 L=2000	個	鳥取県小構造物標準設計図集参照	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	—	0.130
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	—	7.000

歩車道境界ブロック
乗入用

S=1:10

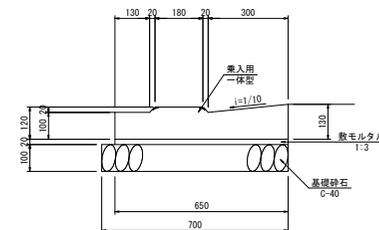


※歩道側境界部分は歩道の高さが車道より低いため歩道側を5cm下げる目的で乗入用を逆向きとしている。

名称	規格	単位	計算式	数量
境界ブロック	乗入用 L=600	個	10.0/0.605	16.5
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$[0.16 \times 0.12 + 0.30 \times 1/2 \times (0.17 + 0.20) + 0.19 \times 0.06] \times 10.0$	0.861
型枠		m ²	$(0.12 + 0.20) \times 10.0$	3.200
敷モルタル	1:3	m ³	$0.19 \times 0.01 \times 10.0$	0.019
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	0.70×10.0	7.000

歩車道境界ブロック
乗入用 (一体型)

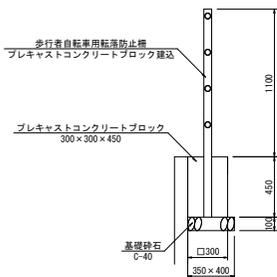
S=1:10



名称	規格	単位	計算式	数量
境界ブロック	乗入用 一体型 L=2000	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	$0.65 \times 0.02 \times 10.0$	0.130
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	0.70×10.0	7.000

転落防止柵
H=1100

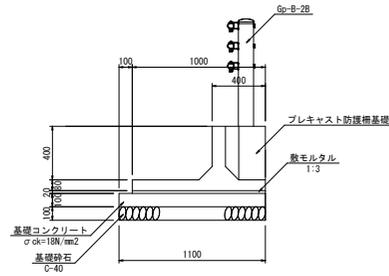
S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
歩行者自転車用転落防止柵	プレキャストコンクリートブロック組込	m	—	10.0
プレキャストコンクリートブロック	300×300×450	個	10.0/3.0	3.333
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	$0.35 \times 0.40 \times 10.0/3.0$	0.467

1号プレキャスト防護柵基礎
BGR4-H400, 非直上

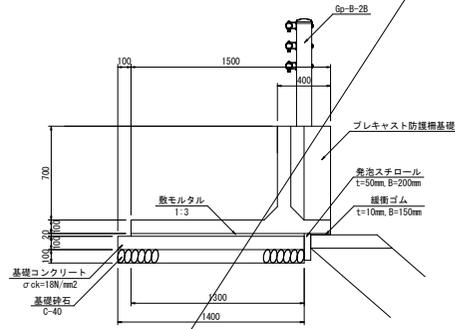
S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
プレキャスト防護柵基礎	L=2000	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	$1.00 \times 0.02 \times 10.0$	0.200
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$1.10 \times 0.10 \times 10.0$	1.100
基礎型枠		m ²	0.10×10.0	1.000
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	1.10×10.0	11.000

2号プレキャスト防護柵基礎
BGR4-H700, 直上

S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
プレキャスト防護柵基礎	L=2000	個	10.0/2.0	5.0
敷モルタル	1:3	m ³	$1.30 \times 0.02 \times 10.0$	0.260
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	$1.40 \times 0.10 \times 10.0$	1.400
基礎型枠		m ²	0.10×10.0	1.000
基礎砂石	C-40 t=10cm	m ²	1.40×10.0	14.000
緩衝ゴム	t=10mm, B=150mm	m ²	0.15×10.0	1.500
発洩スチロール	t=50mm, B=200mm	m ³	$0.05 \times 0.20 \times 10.0$	0.100

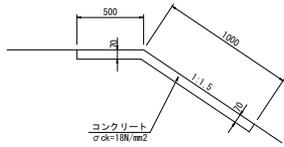
起工

路線名	国道183号(新屋工区)
位置	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)
図名	構造図(9)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示
単位	M
図名	全 27 葉の内 21
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

構造図 (10)

路肩保護コンクリート
PS1

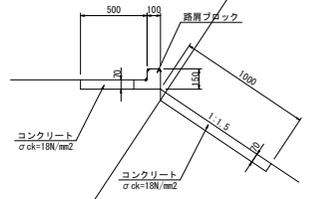
S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	鳥取県小構造物標準設計図集参照	1.050
型枠		m ²	—//—	0.700
目地材	t=10mm	m ²	—//—	0.263

水路兼用路肩保護コンクリート
WP1

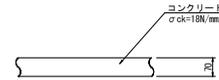
S=1:20



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	鳥取県小構造物標準設計図集参照	0.980
型枠		m ²	—//—	0.700
路肩ブロック	L=495	個	—//—	20.0
目地材	t=10mm	m ²	—//—	0.245

張コンクリート

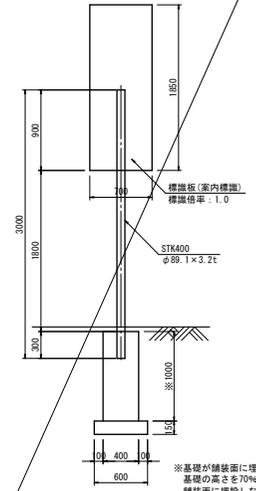
S=1:10



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	10.0×0.07	0.700
目地材	t=10mm	m ²	10.0×0.07/10.0	0.070

小型標識
単柱式 (参考図)

案内標識
チェーン着脱場 S=1:30



※基礎が舗装面に埋設されることを想定し、基礎の高さを70%低減している。舗装面に埋設しない場合は1400とすること。

名称	規格	単位	計算式	数量
標識板	B100×H1850	枚		1.000
支柱	STK400 φ89.1×3.2t	m		3.000
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.40×0.40×1.00	0.160
基礎型枠	C-40	m ²	0.40×1.00×4	1.600
基礎砕石	C-40 t=15cm	m ²	0.60×0.60	0.360

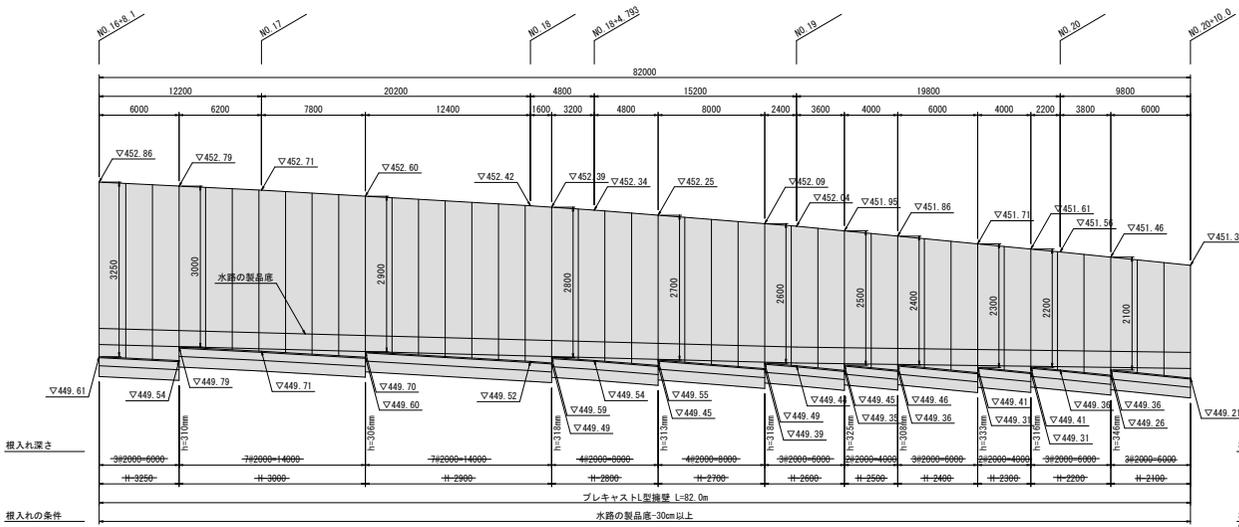
起工

路線名	国道183号 (新屋工区)		
	国道183号 (新屋工区) 歩道設置工事 (2工区) (交付金交安) (国補正)		
図名	構造図 (10)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 22		
令和 6 年度施行	鳥取県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

プレキャストL型擁壁 展開図 (参考図)

SH=1:200
SV=1:50

左側展開図



DL=445.00

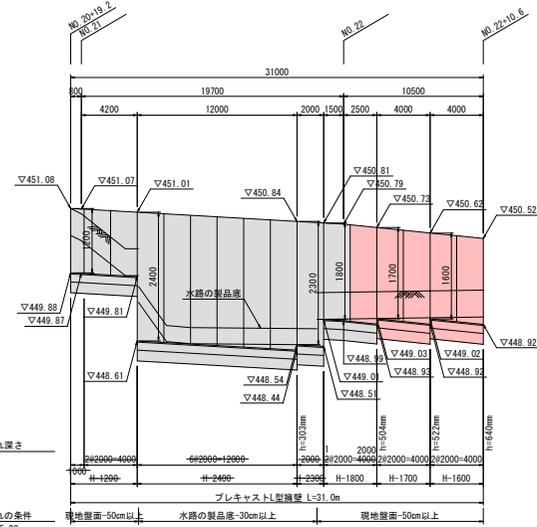
プレキャストL型擁壁		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
H1200	L型擁壁 H1200, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.200
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	1.200
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	2.000
H1600	L型擁壁 H1600, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.250
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	1.450
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	14.500
H1700	L型擁壁 H1700, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.260
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	1.500
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	2.000
H1800	L型擁壁 H1800, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.270
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	1.550
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	2.000
H2100	L型擁壁 H2100, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	$1.55 \times 0.02 \times 10.0$	0.310
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	$1.75 \times 0.15 \times 10.0$	2.625
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	$0.15 \times 2 \times 10.0$	3.000

プレキャストL型擁壁		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
H2200	L型擁壁 H2200, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.320
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	2.700
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	3.000
H2300	L型擁壁 H2300, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.330
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	2.775
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	18.500
H2400	L型擁壁 H2400, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.340
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	2.850
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	19.000
H2500	L型擁壁 H2500, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.350
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	2.925
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	3.000
H2600	L型擁壁 H2600, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	$1.85 \times 0.02 \times 10.0$	0.370
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	$2.05 \times 0.15 \times 10.0$	3.075
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	$0.15 \times 2 \times 10.0$	3.000

プレキャストL型擁壁		10m当り数量表		
名称	規格	単位	計算式	数量
H2700	L型擁壁 H2700, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.380
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	3.150
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	3.000
H2800	L型擁壁 H2800, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.390
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	3.225
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	21.500
H2900	L型擁壁 H2900, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.400
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	3.300
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	22.000
H3000	L型擁壁 H3000, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	鳥取県小構造物標準設計図書参照	0.410
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	-	3.375
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	-	3.000
H3250	L型擁壁 H3250, L2000	個	10.0/2.0	5.000
	敷モルタル 1:3	m ²	$2.20 \times 0.02 \times 10.0$	0.440
	基礎コンクリート $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m ³	$2.40 \times 0.15 \times 10.0$	3.600
	基礎型枠 C-40 t=20cm	m ²	$0.15 \times 2 \times 10.0$	3.000

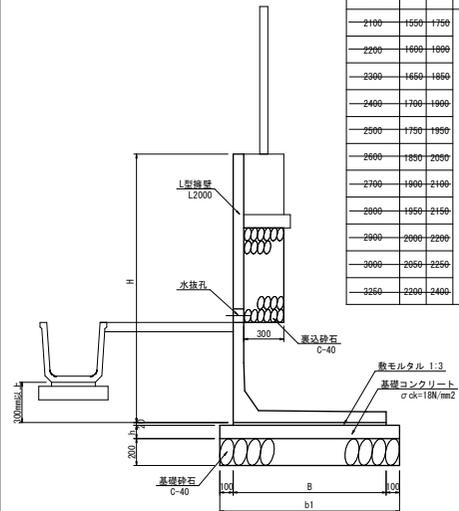
プレキャストL型擁壁

S=1:20



規格H	地盤反力(常時・安全率3倍)
H1200	62.70 × 3 = 188
H1600	68.13 × 3 = 204
H1700	72.49 × 3 = 217
H1800	77.21 × 3 = 232
H2100	88.99 × 3 = 266
H2200	92.76 × 3 = 278
H2300	97.01 × 3 = 291
H2400	101.32 × 3 = 304
H2500	105.65 × 3 = 317
H2600	109.96 × 3 = 329
H2700	114.24 × 3 = 343
H2800	117.11 × 3 = 351
H2900	121.98 × 3 = 366
H3000	125.66 × 3 = 377
H3250	136.54 × 3 = 407

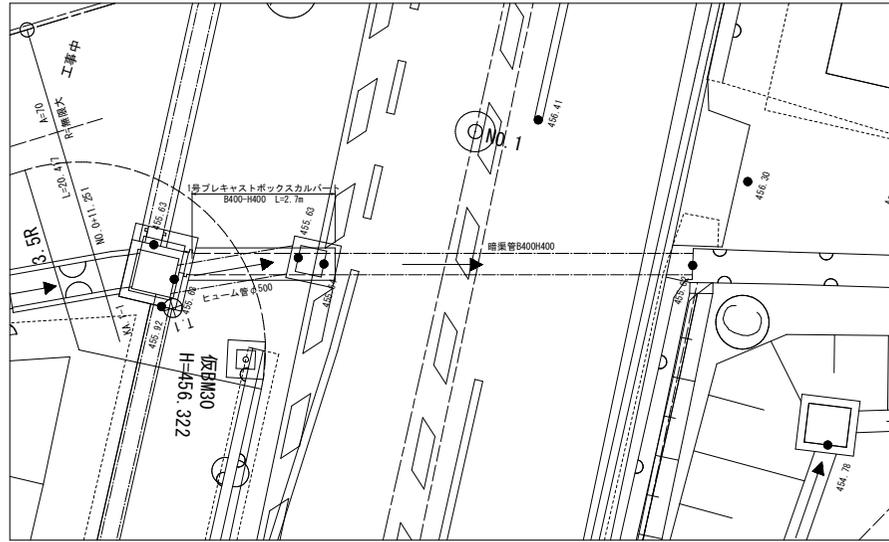
規格H	B	b1	h
1400	1000	1200	100
1600	1250	1450	
1700	1300	1500	
1800	1350	1550	
2100	1550	1750	
2200	1600	1800	
2300	1650	1850	
2400	1700	1900	
2500	1750	1950	
2600	1800	2000	
2700	1900	2100	
2900	1950	2150	
2900	2000	2200	
3000	2050	2250	
3250	2200	2400	
			150
2600	1850	2050	
2700	1900	2100	
2900	1950	2150	
2900	2000	2200	
3000	2050	2250	
3250	2200	2400	



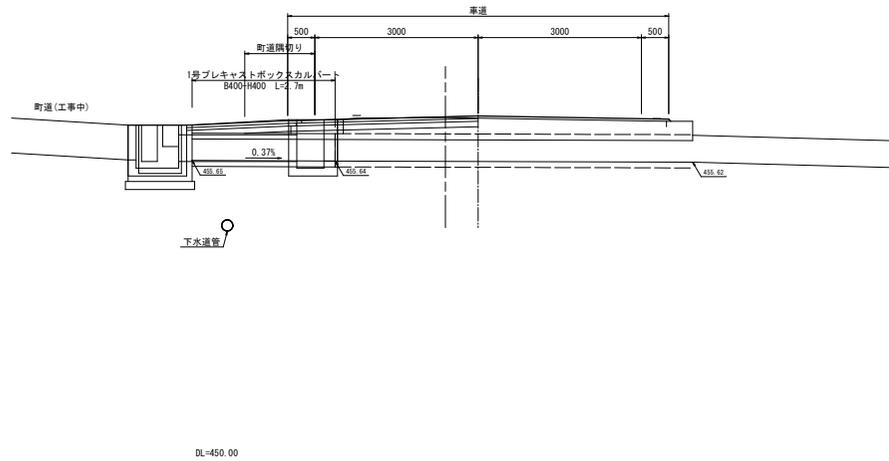
起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
位置	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)
図名	プレキャストL型擁壁展開図(参考図)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示
単位	M
図名	全 27 葉の内 23
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

1号プレキャストボックスカルバート一般図

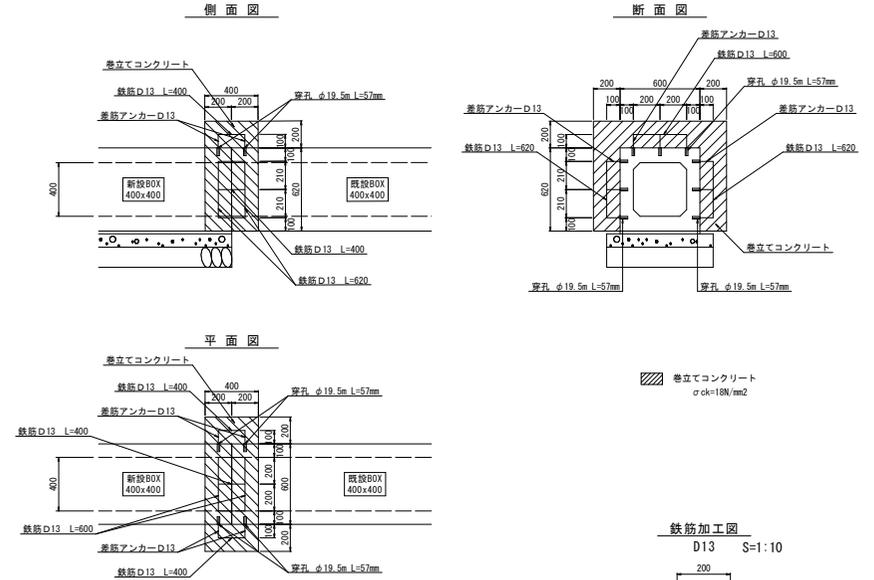
平面図 S=1:50



横断面図 S=1:50

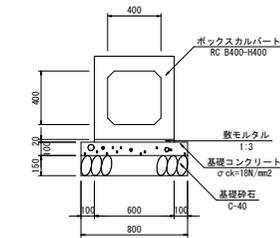


既設BOXと新規BOX 接合部(参考図) S=1:20



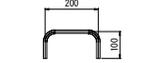
※継手部は、無収縮モルタル等を注入して水密性に配慮する。

プレキャストボックスカルバート B400-H400 S=1:20



巻立てコンクリート
σ_{ck}=18N/mm²

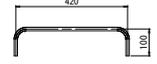
鉄筋加工図
D13 S=1:10



L=400mm



L=600mm

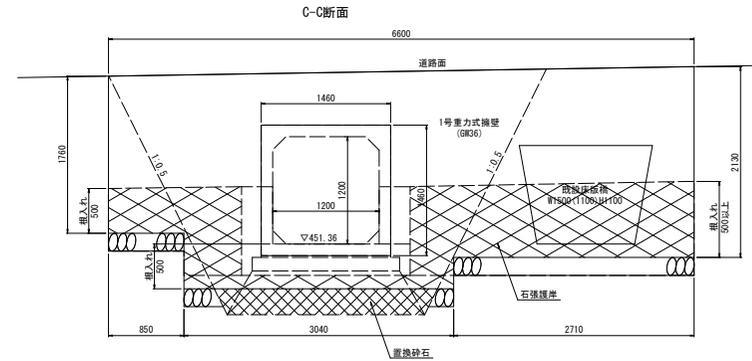
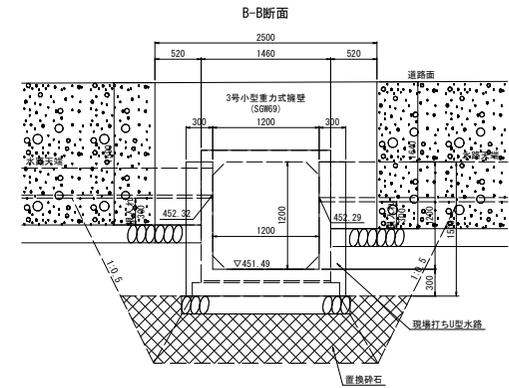
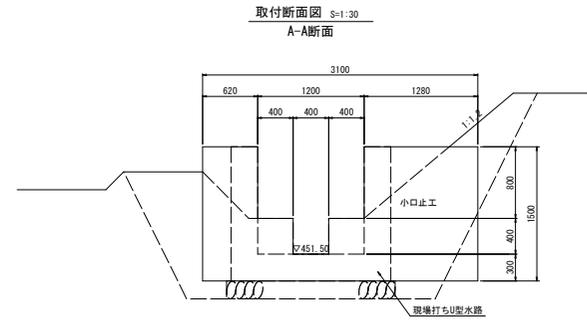
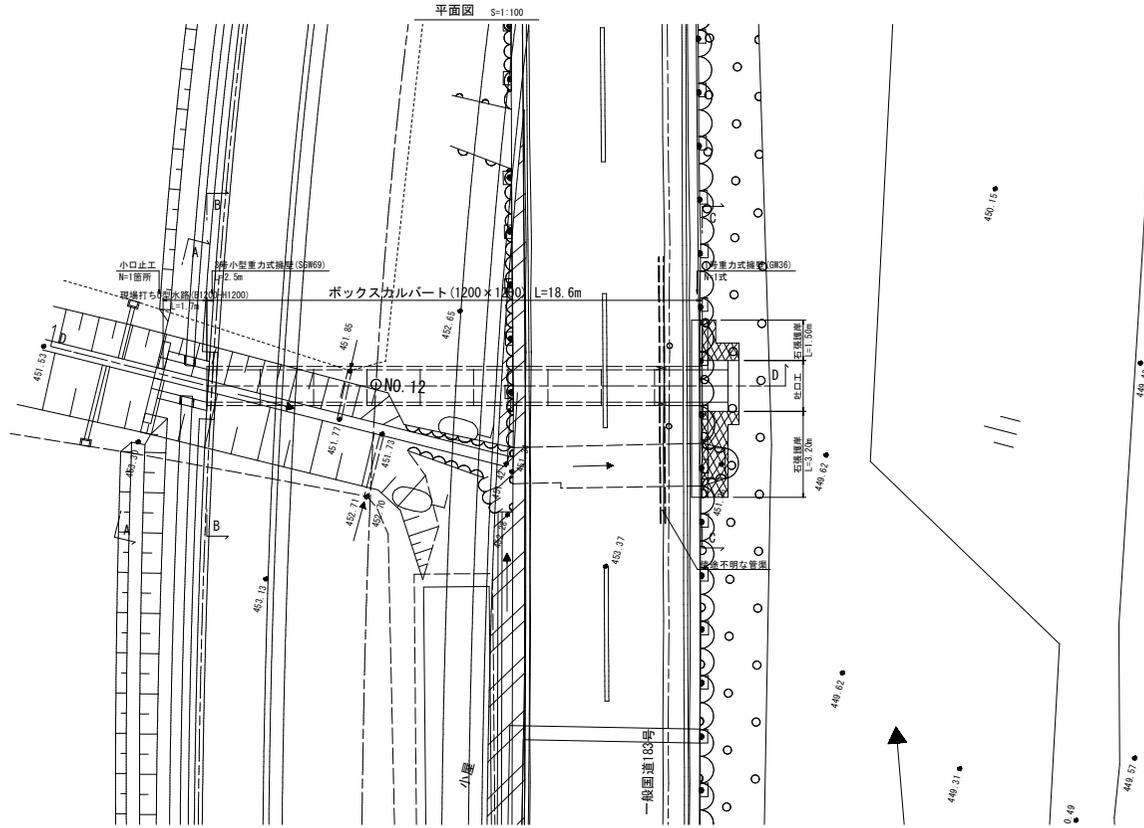


L=620mm

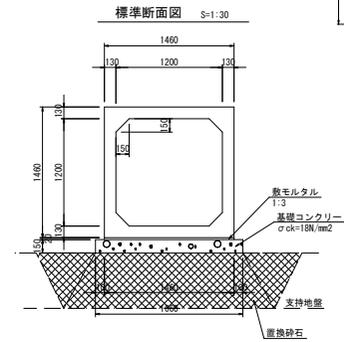
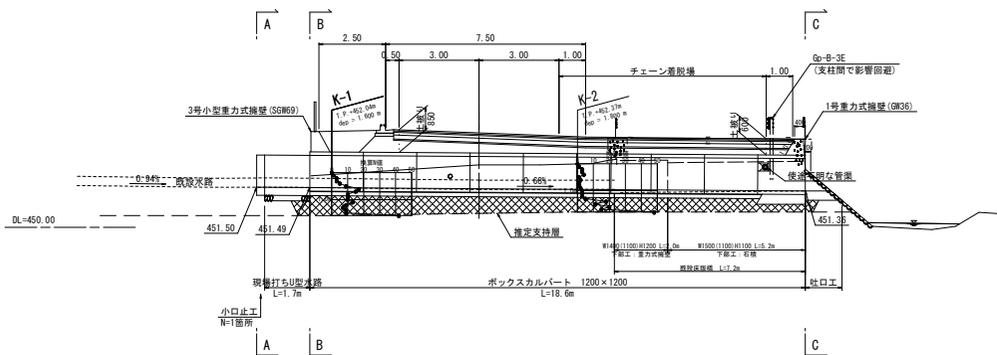
プレキャストボックスカルバート (B400-H400)		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
ボックスカルバート	B400-H400	本	2.7/2.00
本体	敷モルタル	1:3	0.60 × 0.02 × 2.70
	基礎コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	0.80 × 0.10 × 2.70
	基礎型枠		0.10 × 2.70 × 2
	基礎砕石	C-40 t=15cm	0.80 × 2.70
巻立てコンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²		0.80 × 0.40 × 0.20 + 0.20 × 0.40 × 0.62 × 2
	巻立て型枠		(0.80 + 0.40) × 0.20 + (0.20 + 0.40) × 0.62 × 2
鉄筋	SD345 D13	kg	(0.40 × 9 + 0.60 × 2 + 0.62 × 4) × 0.995
	差筋アンカー D13 L=150mm	本	9 × 2
穿孔	φ19.5mm L=57mm	箇所	9 × 2

起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示
単位	M
図名	全 27 葉の内 24
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

2号プレキャストボックスカルバート一般図



水路縦断面図 D-D断面



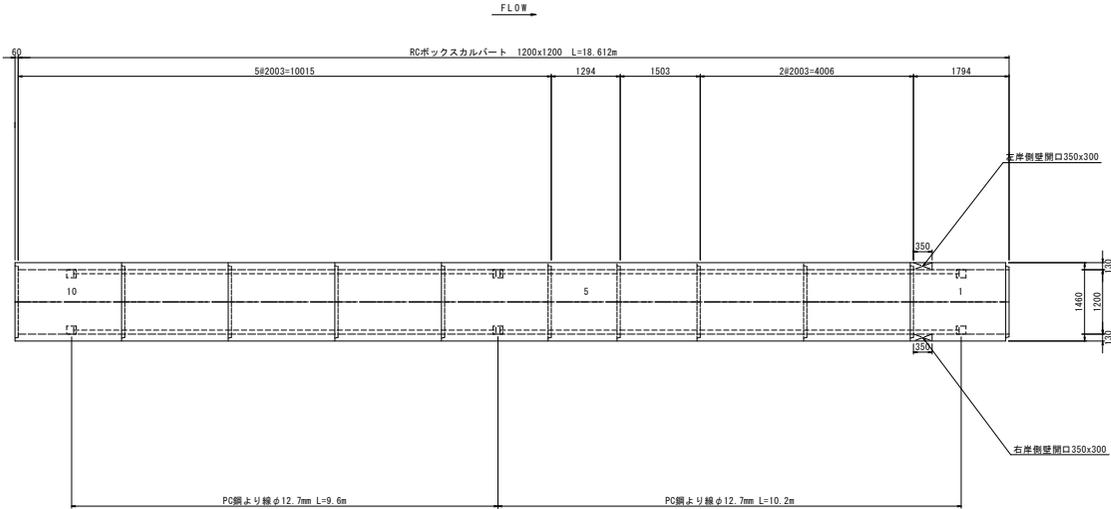
＜施工時の留意事項＞
 ・支持地盤において、ボックスカルバートに必要な地耐力を有しているか確認を行うこと。
 必要地盤反力=92.76×3(安全率)≒278N/m2以上
 ・使用不明の管渠は抱き込み施工を予定している。
 抱き込み用のボックス開きの詳細位置は、施工時に確認すること。
 なお、施工時点で管渠復旧が必要と判断された場合は撤去が容易である。

起工

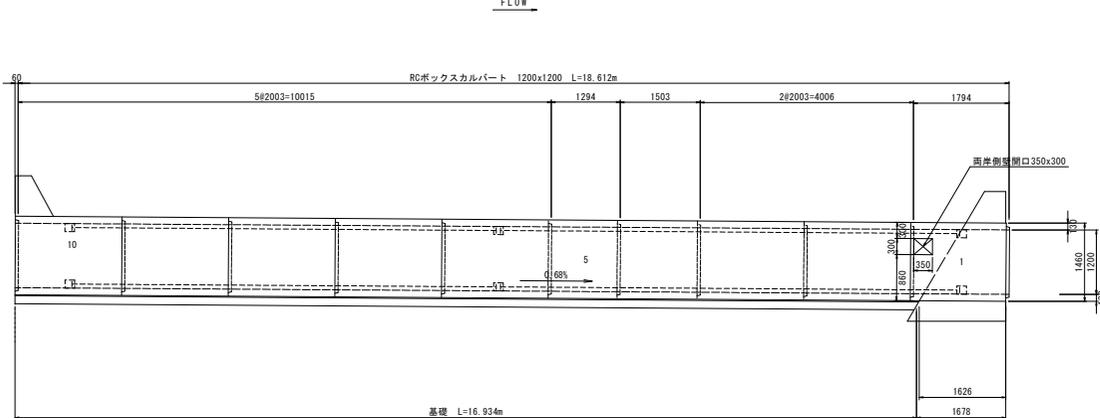
路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事 (2工区)(交付金交安)(国補正)	
図名	2号プレキャストボックスカルバート一般図
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示
単位	M
図名	全 27 葉の内 25
令和 6 年度施行	鳥 取 県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	

2号ボックスカルバート割付参考図 (1)

平面割付図
S=1:50



縦断割付図
S=1:50



数量表

規格 (D×H×L)	種別	本数		合計	製品NO.		参考質量 (kg)
		定着部有	定着部無		定着部有	定着部無	
1200x1200x2000	標準	1	5	6	6	2.3.7.8.9	3.680
1200x1200x2000	差筋付	1	0	1	10	-	3.680
1200x1200x1791	短尺、両岸側壁開口350x300	1	0	1	1	-	3.230
1200x1200x1500	調整	0	1	1	-	4	2.760
1200x1200x1291	短尺	0	1	1	-	5	2.375
合計		3	7	10			

基礎材数量表

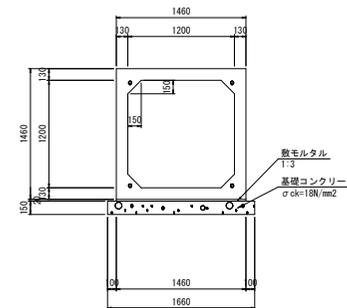
名称	規格	単位	数量	備考
敷モルタル	1:3	m ³	0.496	
基礎コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	4.217	
同上量砕		m ²	5.080	

縦締め材料数量表

名称	規格	一本あたり線長 (m)	本数 (本)	単位質量 (kg)	質量 (kg)	定着具(組) アンカープレート、グリッブ
PC覆より線	φ12.7mm	10.20	4	0.774	31.579	8
		9.60	4	0.774	29.722	8
合計			8		61.301	16

*製品の疵びとして3mm考慮する。
*縦締めはPC覆より線φ12.7mmを使用し、P=120kN/本以下で締め付けを行う。
なお、2次施工はNo.5から据付けを行う。

標準施工断面図
S=1:30



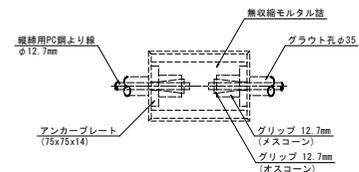
設計条件

項目	単位	数値	
適用土かぶり範囲		0.60m~0.85m	
活荷重	-	T-25	
圧雪荷重	kN/m ²	1.0	
単位体積質量	鉄筋コンクリート	kN/m ³	24.5
	土	kN/m ³	18.0
新	コンクリートの設計基準強度	N/mm ²	40.0
新	コンクリートの曲げ圧縮応力度	N/mm ²	14.0
新	コンクリートのせん断応力度	N/mm ²	0.27
新	鉄筋引張応力度 (SD295A同等以上)	N/mm ²	160.0

<施工時の留意事項>

- ・支持地盤において、ボックスカルバートに必要な地耐力を有しているか確認を行うこと。
- ・必要地盤反力=93.106×3(安全率)≒279kN/m²以上
- ・使途不明の管渠は抜き込み施工を予定している。
- ・抜き込み用のボックス開口の詳細位置は、施工時に確認すること。
- ・なお、施工時点で管渠復旧が不要と判断された場合は撤去が容易である。

縦締め詳細図
S=1:5

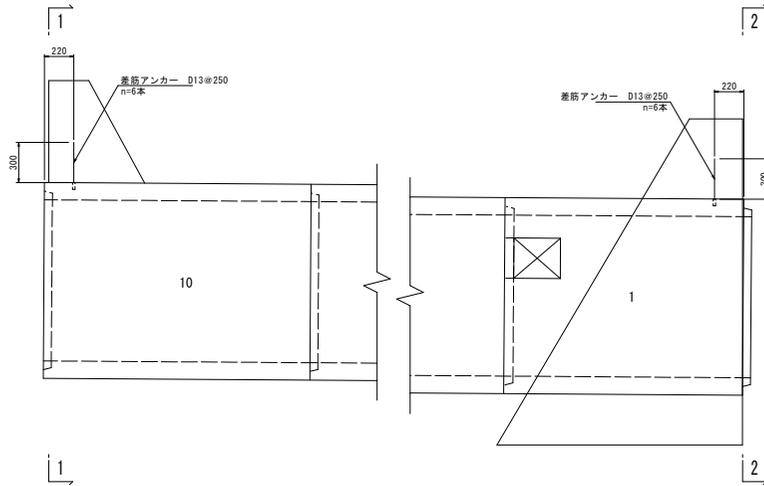


起工

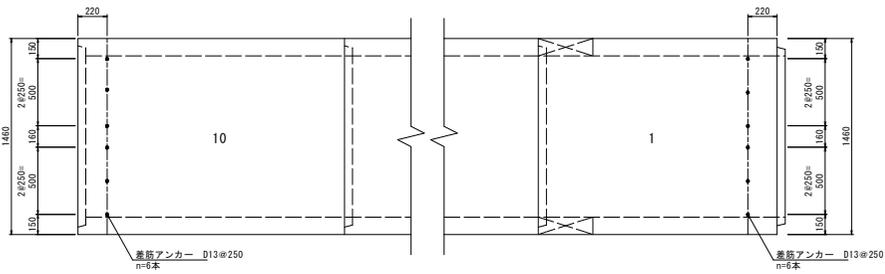
路線名	国道183号(新屋工区)		
位置	国道183号(新屋工区)歩道設置工事(2工区)(交付金交安)(国補正)		
図名	2号ボックスカルバート割付参考図(1)		
位置	日野郡日南町新屋		
縮尺	図示	単位	M
図名	全 27 葉の内 26		
令和 6 年度施行	鳥 取 県		
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局			

2号ボックスカルバート割付参考図 (2)

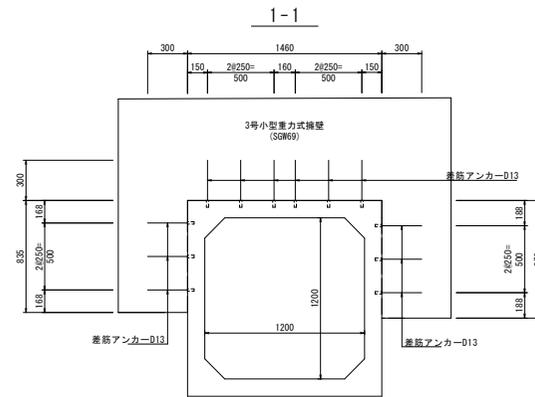
側面図 S=1:20



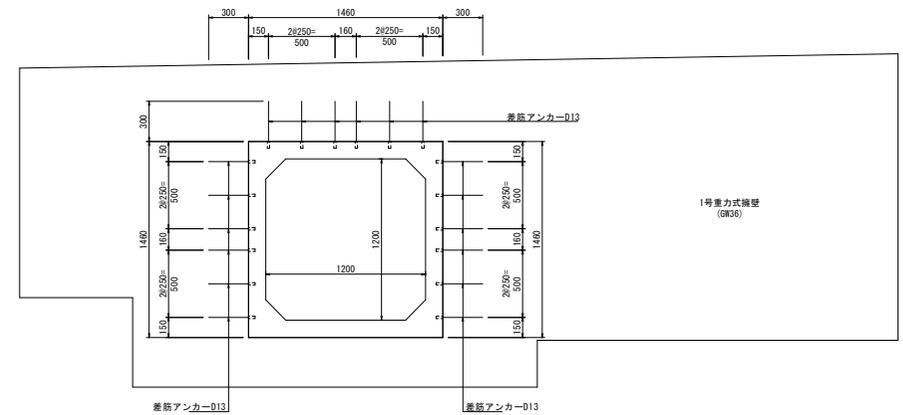
平面図 S=1:20



断面図 S=1:20



2-2



- ※注記
- 寸法や鉄筋量は現地状況に合わせて変更すること
 - 鉄筋の終端りが75mm以上露出できるように調整すること
 - 既設との接続部の隙間は無収縮モルタルで充填すること
 - 差筋の長さ表記は突出長を示す

プレキャストボックスカルバート (B1200-H1200)		1箇所当り数量表	
名称	規格	単位	数量
差筋アンカー	3R245 D13 突出長L=300mm	本	6×4×3×2
			30,000

起工	
路線名	国道183号(新屋工区)
国道183号(新屋工区)歩道設置工事 (2工区)(交付金交安)(国補正)	
図名	2号ボックスカルバート割付参考図(2)
位置	日野郡日南町新屋
縮尺	図示 単位 M
図名	全 27 葉の内 27
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所日野振興センター日野県土整備局	